

第6回御嵩町総合計画審議会
実施報告書（議事録）

平成28年2月
御嵩町総合計画審議会事務局
（御嵩町企画課）

それでは、次第にしたがいまして会議を進めたいと思います。開会に当たりまして、横山会長にご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

○横山会長

皆さんこんばんは。皆さんとともに約1年に渡り進めてきました審議会も大詰りを迎えることとなりました。いろいろな議論をいただき、案はそれほど特別なものになっているわけではないですが、皆さんのいただいたご意見をちりばめて良いものが出来上がったと思います。

今日は最終審議会ということで、どうしてもこれは言っていたきたいというご意見をいただきまして、最終的には承認をいただきたいと考えております。

あわせて、町長の方へ答申ということで案を示しておりますので、それを含めまして、ご承認をいただきたいと思います。

最後には、この総合計画がスタートするためのシンポジウムを事務局がお考えですので、この辺りを含めてご意見をいただきたいと思います。

○各務企画課長

(本日の資料の確認)

これより議事にそって進めたいと思います。横山会長、よろしくをお願いいたします。

3. 議事・意見交換

○横山会長

第5次総合計画について資料1から資料2、資料3、答申案について、事務局からご説明をお願いします。

(1) 第五次総合計画 基本構想(案)について、基本計画(素案)について

○事務局

(資料1、資料2、資料3、答申案について説明)

○横山会長

それでは、総合計画案と答申案を合わせて、委員の皆さんから順番にご意見をいただく。たとえば、総合計画案の44、45ページに未来を担う人材を育てるというところで、ふるさと教育が出ているが、これは具体的な施策があるのか。

○事務局

具体的な施策については、御嵩町教育・夢プランに基づいた事業などがあります。その他、具体的には地方創生に関連する事業で、御嵩のかるたを作っており、御嵩町の観光や歴史について遊びながら郷土を学ぶ機会を展開していきたい。

○横山会長

全体的に指標の中でも「御嵩町を誇れると思う人割合」とあるが、抽象的になる。総合計画であり、実施計画の具体的な計画までは書いていないが、抽象的な表現が全て総合計画ではないので、留意いただきたい。44、45ページにあるふるさとへの愛着をはぐくむとともにについてもう

少し踏み込んで、ふるさとを学ぶ学習体系の構築など、実施計画につながる表現をしていただいた方がよい。指標もそれに応じて変わってくるところがある。

そういったような観点からの質問とか、ここはもう少しということがありましたらご指摘下さい。

それでは、水野委員お願いします。

○水野委員

特別の意見はないが、この答申の通りである。50 ページの観光魅力の向上のことで、御嶽宿の歴史などを勉強いただくことがあると思うが、御嶽宿を基軸とした観光をもう少し強く出していただけるとありがたい。今日も新聞で電線の地下埋設が行政改革で規制緩和されるようなことが書いてあった。ぜひ、そういうことも御嶽宿の改革に入れていただいて、きれいになる御嶽宿、伏見宿のようなことを入れていただくとよい。

○横山会長

金融協会の谷口委員。

○谷口清委員

細かい話で恐縮だが、資料3の2-2男性は仕事、女性は家庭と思う人の割合14.3%に割合がアップするのではなく、下がる方ということは反対では。

○横山会長

反対である。誤解を招く。

○谷口清委員

資料4答申の中で、地縁組織、町民グループ、NPOで地縁組織がどのような組織となるのか。キャッチフレーズが「つながる・あふれる・輝くまち」とコンパクトで覚えやすくて印象に残り、とても良い。

○横山会長

地縁組織についてはいかがか。

○事務局

自治会、町内会のことで、町民グループはサークルなどのことである。

○横山会長

そのことを書いても良いのでは。

○谷口鈴委員

地縁というのは自治会が地縁団体として届出をして法人として認可されるイメージが強い。自治会ならびに地域のいろいろな組織などを並べて、言葉を分散した方がよい。

○横山会長

分かりやすくした方がよいので、事務局に検討をお願いしたい。
婦人の会の田中委員。

○田中絹委員

同じように、地縁組織、町民グループについて分かりやすく示すべきと考えた。
もう少し詳しく、自分の所属している組織ということか。

○事務局

地縁組織は、居住地域を基礎としているような自治会や町内会、PTAなどで、町民グループは特定の目的などで活動しているボランティア、介護、スポーツクラブなどの団体で、この表現が分かりづらいので修正してきたい。

○田中絹委員

私が所属している自治会は小さな自治会であるが、よそから来たメンバーで構成されており活動がだんだん簡素化されて、団地の中でも顔を知らない状況になる。

先日、火事があったが、何かあった時に自治会の組織として地域との密着性はどうかという課題がある。田舎の自治会と団地の自治会とは異なり、団地はよそから来たメンバーで構成される自治会であり活動が簡素化されて、顔を合わせることがない。何かあった時は、不安がある。積極的に協働を進めていくのは、南山台は大きな団地なので、どのように進めていくのかということと思う。

小さなことであるが、火事があった時に、消防車はすぐ来ても水がなかった。防災の面でよその地域でもそういったところがあれば、それも加えていかないと大変になる。地域社会づくりは、外との接点を求めながら地域のために取り組んでいくが、団地の中では人がつかみにくい。

○横山会長

特に修正ということではないですね。

○田中絹委員

はい。御嵩町の職員について、包括支援センターの相談に知り合いがうかがったが親切であった。こういう町がもっと広がると良い。

○草田委員

中身をしっかり見ていなかったが、つながるというキャッチフレーズはシンプルで良い。修正についてはそれほどないと思う。自治会については、新しく自治会に入ってくれない、入る、入らないという話を聞くので、自治会のあり方について考えた方が良い。

○横山会長

私も来年度自治会長になるが、アパートの人は加入しない。今回、計画において住民自治活動の活発化を出したのは進歩と思う。具体的な施策を期待したい。

商工会の木村委員。

○木村委員

商工会長が突然逝去されてショックであるが、これからつながるということでは商工業も次につながる事が大事だと思う。商業施設ができることも大事であるが、歩いて行ける店など、次の世代に渡せるものがあるようなことが、少子高齢化の中であるとよい。

自治会に入らない人が多いという課題があり、どういふうに進めると入っていただけるの

か。人が少なくなると自治会としての機能を果たすことも難しくなってくると思うが。若い人も入っておられる方と入らない方がおられるが。地道なことが必要か。

○横山会長

どこの自治体でも課題となっており、この研究を私もやっている。加藤委員。

○加藤委員

39 ページの健康づくりについて、ここでは子どもや成人の健康づくりについては示しているが、老人の健康づくり、団塊の世代で70、65歳以上の方のことがあまり書いていない。高齢者のことがあまり書いていないのでどうかと思う。

○横山会長

また現課の方と調整いただきたい。

○事務局

高齢のみなさんやあらゆる世代の人をサポートしていくことを示したい。

○横山会長

中島副会長。

○中島副会長

特に計画案について意見はない。参加のまちづくりから協働に進む中で、行政が参加を呼び掛けても出てくるメンバーは同じ。商工会メンバーやここにいるみなさんであった。いかに一般の町民の方々を巻き込むのかについて、最初のところでしっかり学ぶ機会をつくっていただけたらと思う。

○横山会長

本当に大事なことと思う。可兒委員。

○可兒委員

計画はよくできているが、これをどう進めるのか、実行するのかが課題である。農業委員会の会長の立場では、担い手の確保や農地の集約や遊休農地の解消を図るのは、農業のみではなく、ほかの部門と一緒に進めるべきである。どういうことを進めるのか、絵に描いた餅とならないようにどうしていくのか。その時には各課が寄り合っやるべきであり、これは農林課の仕事だという形では進まない。緑を守るのは、災害を未然に防ぐためにも重要であり、行政で縦割りを当てはめないで、進めていくことを期待している。全般的には、よくできている計画である。

○横山会長

ご指摘のとおりであり、行政の縦割り克服という課題がある。谷口委員。

○谷口鈴委員

コンパクトにまとめている計画という印象が強い。総合計画なのでどこまでできるのかが課題である。一番大事なものは人口減少、2025年をピークとしてとんでもない時代が来る。町としてここ10年、移住・定住の促進をどう図っていくのか、地場産業を再興していくのか、ここは交流

の地域として良い地域であり広規格道路、鉄道について、今の状況で良いのか、その先に対する示唆が少し弱い。

若者を定着させるためには、企業誘致、工業団地の開発も必要であるが、それを受け入れるための基盤整備を示唆する、引っ張り出す、提言することが大切であるが、若干記述が少し弱い。あとはうまくできている。

○横山会長

岡本委員。

○岡本委員

ふるさと教育の中で、この4月以降に、上之郷で放課後子ども教室、学校に地域の人を呼んでそこでお話を聞くことをモデルケースでやると聞いている。それが進んでいくと良い。

自治会の話が出ていて、そのことも質問しようと思っていたが、地縁、血縁で協働を進めていくということであるが、自治会の実態が役場の下請け的なことで、なかなか自治会の中で協働が進みづらい。役を一年やるのが精いっぱいであるのが実態。実際に協働をどう進めるのかが課題。参加でなくて、協働を前面に打ち出しているの、いかに協働するのかという出口、どうやったら住民が動いていけるのかということも、これを実際にやっていく中で、住民を育てながら動きやすいような環境づくりも進めていくことができるとよい。

○横山会長

ありがとうございました。

こういう計画はどの分野でも、行政の縦割りの克服が大事になる。行革にも関係することであり、それぞれの課が施策を進めるが対象者は地域ということで同じで、地域が疲弊している。どうやって地域の主体となるみなさんとやってくのか、公民連携ということが必要である。行政内部の連携、外との連携、外の民同市のつながりも大事。そういった意味がサブタイトルに含められている。なかなか表現は難しいが、町長のリーダーシップで計画をぜひ遂行していただきたい。

今日はこの総合計画審議会において、委員の皆さんに計画案をご承認いただき、答申案についてもご承認いただくことになっている。

第五次計画案についてご承認の方挙手を

ありがとうございます。全員一致です。

答申案について賛成の方の挙手を

○谷口鈴

先ほどの意見であった地縁組織についての文言修正はどうするのか。

○横山会長

修正することを前提に、この大まかな内容についていかがか、修正案は速やかに委員に。

○各務企画課長

自治会、地域団体というような言葉を入れていきたい。

○横山会長

そういう前提で内容についてご承認をいただきたい。改めて賛成の方の挙手をお願いいたします。ありがとうございます。全員一致でご承認いただいたということで、ありがとうございます。

た。

次の議事、3月に予定されております総合計画フォーラムについて、事務局から説明を。

○事務局

(資料5について事務局が説明)

○横山会長

質問、ご意見などがありましたら。

サブタイトルは狭義の協働よりも、サブタイトルのように輝くまちづくりということで、サブタイトルを活用することを工夫いただきたい。そのような内容でも。

○水野委員

3月にまちづくり課でも空き家対策などについて町民に聞いていただく機会があり、中公民館や役場の大会議室を使いながらそういう機会を設ける。毎週こういうイベントが重なっており、縦割り行政かと。毎週やっても無駄ではないかと思うが、良い方法があれば。企画課で考えたものとまちづくり課のものが合体できるように、一つのメインテーマに組み入れた方が、町民が参加しやすい。町民が毎週出てくるとは思えない。

○寺本部長

水野委員ご指摘のように、前日、まちづくり課の会議、21日はフォーラムということで、どちらの会議も総務部が所管するので、私の調整不足で謝罪したい。2日連続ということになったが、リンクする形で行いたいと思う。参加人数についても心配があるが、極力、団体に依頼して多くの方に出席をお願いしていく。

重複することについては、今後さらに気を付けるので、よろしく申し上げます。

○田中絹委員

アピールはどうするか。町民が集まるためには、これでは出席しない。

○谷口鈴委員

28年度から第五次総合計画がスタートするというので、今回策定するものを紹介しながら、向こう10年スタートアップフォーラムということで行われる意図で、できれば年度内ということで開催することだと思う。

協働のまちづくりフォーラムをつながる・あふれる・輝くまちについて、今回のフォーラムの開催の趣旨を明確に打ち出す方が住民にも分かりやすい。基本構想についても住民に印象付けるためにも、その方針を出しての開催の方が良いので、もう一度検討をお願いしたい。

○事務局

フォーラムについては、みなさま各団体にもご案内いただきたいので、ぜひご参加いただきたい。チラシなどができたら、各団体にうかがいたい。会議などがありましたら、そこでご説明するなり、趣旨をお伝えしたい。各団体におかれましても周知やご参加をお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○横山会長

以上をもちまして、総合計画の審議は1年間に渡り委員のみなさまと進めてきましたが、終

了させていただきます。答申案の修正については委員のみなさまに配布したいと思ひますし、軽微な修正については、事務局と調整したいと思ひます。1年間、つたない進行でございましたが、どうもありがとうございました。

4. その他／5. 閉会

○企画課長

横山先生のご指導のおかげでこういう形で総合計画ができるということになりました。委員の皆さまにも全6回にわたり熱心に協議いただいた結果だと思ひます、

町長に対する答申案をもう一度修正させていただきます、3月中に会長、副会長と一緒に町長に答申いただきたいと思ひます。日程については、会長、副会長と調整させていただきます決めたと思ひます。

28年度は総合計画の進捗管理など、みなさんに一緒に見ていただきたいと思ひますので、引き続きお願いいたします。

○総務部長

お礼の前に一つ説明をさせていただきます。会議の中で愚溪寺の火災の件が出ました。当時の状況は、第一報があり消防自動車ですぐ駆け付けた時は、火元を消す状況ではなく類焼を防ぐので精いっぱい状況でした。ご指摘があったように一部では水が出なかったのは事実であるが、それをもって6軒すべた絵が燃えたわけではありません、消防団員も懸命に活動しており、夜を徹して見回り等も実施しております。もしも間違った話が出た時は、よろしく願ひいたします、

もう一つ、消防団員については防火水槽、消火栓を地図等で場所を確認したうえで出動していますが、全て頭に入っているわけではないです。そこに住んでいる住民の方が、ここは防火水槽、消火栓とお知らせいただくのが大事なことでありと思ひます。それも協働と思ひます。協働を大事にするという第五次総合計画を本日ご承認いただきましたので、6回の会議に参加いただきまして、どうもありがとうございました。

後日改めて、会長、副会長の方から、町長の方に答申を出すということですので、その時には広報等でもご報告したいと思ひます。

いずれにせよ皆さんの総意のもとに、総合計画を策定したことは行政も大事にして、これが最上位の計画という意思のもと今後もがんばっていきますので、引き続き応援をよろしく願ひいたします。本当にどうもありがとうございました。

○企画課長

本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。これにて第6回の御嵩町総合計画審議会を閉会いたします。

以上

